

経済学部 ディプロマ・ポリシー

■ 経済学部

1. 見識豊かな産業人・社会人として多様な実社会に貢献することができる。
2. 幅広い学識・教養と経済学及び隣接領域の高度に専門的な学問を修得している。
3. 経済学を中心とする社会科学分野の知識・教養を備えた有為な人材として、道内外の民間企業あるいは行政等各分野で活躍できる能力を身につけている。
4. 経済のグローバル化が進展する中で、時代のニーズに即応することができる。

■ 経済学科

経済学科は、「知」の魅力に触れ、なりたい「自分」に出会い、「社会の主人公」になろう——というモットーに従い、激変する現代社会の状況に対応しながら、卒業後の職業生活や社会生活の各領域において活躍することができる高い見識を備えたジェネラリストを育成することを目的とする。

本学科では、規定の期間以上在学して所定の課程を修め、以下に示す資質・能力を備えた者に、学位〔学士（経済学）〕を授与する。

（１）知識・技能

- DP1. 経済理論や経済史の基礎を理解し、市場の役割と限界や実証的分析の有用性を認識できる。（経済学の基礎的理解）
- DP2. 経済学分野および隣接する分野の知識を獲得し、現実経済・社会の実態を多面的に把握できる。（経済学関連の知識）

（２）思考力・判断力・表現力

- DP3. 経済学特有の思考方法を身に付け、これに基づいて現実の経済・社会について考え、判断することができる。（経済学的思考力）
- DP4. 国際関係はもとより、国家の枠組みを超えた社会連関をも視野に入れたグローバルな視点から、国内および身近な地域の諸問題を捉えることができる。（グローバルな視点）

（３）意欲・関心・態度

- DP5. 経済社会や国際社会の本質的な課題に関心を示し、多様な価値観を受け入れ、他者と協力して社会に参画する意欲を有している。（協働力、社会参画意欲）

DP6. メディア・リテラシーを身に付け、経済学を始めとする社会科学の諸領域における言説の当否を見極めることができる。(メディア・リテラシー)

■ 経営情報学科

経営情報学科は、「経営」「情報・データサイエンス」「マーケティング」「会計」の4分野における専門的かつ学際的な教育と研究を通して、現代社会の複雑なビジネス課題に柔軟に対応できる高度な実践力を備えた人材の育成を目指す。企業活動に必要とされる理論的知識と情報活用能力に加え、社会や組織が抱える課題を的確に分析し、データに基づいた判断と提案ができる能力を養う。

本学科では、規定の期間以上在学して所定の課程を修め、以下に示す資質・能力を備えた者に、学位〔学士(経営情報学)〕を授与する。

(1) 知識・技能

DP1. 経営理論、マーケティング、会計、情報技術、データサイエンスに関する基礎的かつ専門的な知識を身につけ、現実の経営課題に応用することができる。(知識・技能)

DP2. 企業経営や情報システム、マーケティング戦略、データ分析に必要な手法を修得し、ビジネスの現場で活用することができる。(実践的技能)

(2) 思考力・判断力・表現力

DP3. 経営、情報、マーケティング、会計に関するデータや事例を分析し、論理的に思考・判断し、適切に可視化・表現することができる。(分析・表現力)

DP4. 多様な視点からビジネス課題や社会的課題を捉え、ICT やデータ分析、マーケティングの知見を用いて、適切な解決策を提案することができる。(課題解決力)

(3) 意欲・関心・態度

DP5. 経営、情報技術、データサイエンス、マーケティング、会計に関する知識・技能を社会に活かそうとする意欲を持ち、主体的に学び、実践に取り組むことができる。(主体的態度)

■ 経済法学科

経済法学科では、法律学と経済学の実践的な知識や問題解決能力を身につけることで、実社会において活躍できる人材、法律を理解できる経済のスペシャリスト、経済のセンスを備えた法律のスペシャリストを養成する。

本学科では、規定の期間以上在学して所定の課程を修め、以下に示す資質・能力を備えた者に、学位〔学士(経済法学)〕を授与する。

(1) 知識・技能

DP1. 経済学・法律学の専門科目で学んだ知識をもとに、ゼミでさらに深い知識を修得し、コミュニケーションやプレゼンテーションの仕方を学んで、変動する社会経済に柔軟に対応する適応力を身につける。(知識・技能)

(2) 思考力・判断力・表現力

DP2. 経済理論・データ分析に対する深い理解、および、それらの応用分野である財政・金融の知識をもとに、実社会において、現状を適切に分析して問題を発見し、それに対する解決策を見出すことができる。(分析力・課題発見力)

DP3. 六法（憲法・民法・刑法・商法・民事訴訟法・刑事訴訟法）を中心に広く法を学ぶことで、社会における紛争や制度的課題を公正に判断するリーガルマインドを身に付けている。(判断力)

DP4. 経済学・法律学の2つの分野を横断的に学び、社会の諸事象を多面的に把握し考察できる。(思考力)

(3) 意欲・関心・態度

DP5. 経済や法律の知識をベースに、自らの視点で社会の動向を分析・予測しようとする意欲を持ち、社会の一員として責任を持って社会に貢献できる。(主体的態度)